



「ゆっくり歩くって？」解説

階段を勢いよく降りてきた利用者さん。職員とぶつかりそうになり「す。」「ゆっくり降りてね」というアドバイスに素直に返事をしてくれただけですが、「ゆっくり」の度合いが難しかったようで、次に見たときには抜き足差し足で降りてこられました。そこで「ゆっくり」の度合いを「！」「さ、この訓練生が階段を勢いよく降りた背景には「体幹の弱さ」「ボディイメージのしにくさ」などの障害特性が隠れているかもしれない。「体幹」はダイエットなどでも良く聞く言葉でもあります。体幹の筋力が弱いと、すぐに力が抜けてしまい、体をまっすぐに保つことが難しくなります。ですから急いでいるつもりはなくてもつんのめるようにバタバタ降りてしまっていた可能性があります。また、体を真っ

直ぐに保てないため、面接などの改まった場面でも意識し続けたいと背筋をピンと伸ばせなかったり、どちらかに体が傾いたりしてしまいます。さらに、意識を集中させることが難しい人はこの体勢を続けることができません。

もう一つ、「ボディイメージ」はその言葉の通り自分自身の体の認識のことです。スムーズに脳にイメージを送ることが難しいと、体の動き方がぎこちなくなったり。また「ゆっくり」という概念も本人の中ではイメージしにくかったのですね。一度で感覚をつかむのは難しいのですが、これらの理由から「かかと（もしくはつま先）から足を下ろしてみて」と職員と一緒に階段を降りるなどするとわかりやすくなります。同時に、「このくらいのスピードを『ゆっくり』と表現します」と伝えておくこと次回から「ゆっくり」の程度もイメージしやすくなるでしょう。



米原市は、伊吹山があり、梅花藻があり、お蕎麦は美味しく、ひつじのシヨーンもいる素敵なところ。その割に、その魅力が他の地域に伝わっていないのではないだろうか。『プラットビートの映画にちらりと出ていた米原駅は霧の中だったし』と、他市に住んでいる私はずっと思っていました。

ある日の会議終わり、米原市役所を出たところで可愛らしい山東小学校の児童に呼び止められました。なんと、米原市のパンフレットを作ったのでもらって欲しいと言っていました。ありませんか！大人に声を掛けるのも緊張するだろうに、もらったパンフレットも素晴らしい仕上がり。色々な観光

名所やPRポイントが所狭しと丁寧なイラストと共に書かれています。とても感激した私は、これを職場だけで見るとは何だか勿体ない気がしてきました。せっかくなので、他の地域の人にも見ってもらいたい。山東小学校6年生の心意気を感じて欲しい！

そこで、TBSの安住紳一郎アナウンサーにそのパンフレットを送ってみようと思いいちました。元々、TBSラジオの「安住紳一郎の日曜天国」という番組がとても好きでしたし、「THE TIME」で全国中継をやっておられたり、彦根の平和堂でYシャツを購入されたことも知っていました。丁寧に宛名を記入して（3枚も封筒を無駄にしました）パンフレットを入れ、「読んでもらえませうように」と祈りながら事の経緯をため、投函。その後、淡い期待を抱きながらも忘れようと努力しながら日々を過ごしました。しばらく時は経ち、ポストにはがきが入っていることに気が付きました。その時の感動と言ったら！誰かに自分の気持ちが伝わった時、認めてもらえた時、誰かと同じ気持ちになるように

山東の6年生の作った米原市のPR誌を拝見しました。よく出来ていて驚きました。いつか話を紹介できたら...と思います。

TBSラジオ 安住紳一郎の「THE TIME」
毎週日曜 朝10時放送
E-mail: nichiten@tbs.co.jp
https://www.tbsradio.com/

イラスト：水川聖也

あつぱれびゅー

第5号 令和5年6月1日発行
社会福祉法人あせんぶるおーる
〒521-0012 滋賀県米原市米原中町通549
電話 0749-50-6740
FAX 0749-50-6743

法人5周年を迎えて

社会福祉法人あせんぶるおーる 理事長 橋本文男



地域の皆様、関係機関の皆様には、平素より社会福祉法人あせんぶるおーるに對しましてご理解、ご支援をいただきまして誠にありがとうございます。

就労支援センターあつぷでーとを米原市米原中町通にて、2013年4月に設立しまして10年がたちました。長浜信用金庫様旧米原支店をお借りして、行政にお力添えいただきながら、当初はNPO法人として、5年前からは社会福祉法人あせんぶるおーるとして運営しております。

●当初は、NPO法人「ほつとステーション」、「就労支援センターあつぷでーと」として発足しました。

湖北圏域は、当時、障がい者の就労支援を専門に行う就労移行支援事業所が一方所（定員6名）しかなく、また、国が養護学校生徒についても就労アセスメントを受けることが望ましいとの指針を出したことも重なりました。そこで、長浜米原しようがい者自



立支援協議会において「早急な支援体制の整備が必要である」と検討され、圏域の意向に基づき設立されたのです。

運営は、圏域の障害者福祉の中核を担う社会福祉法人が共同で設置している、NPO法人ほつとステーションが果たることとなり、当初の職員は4人でした。

●2018年4月から社会福祉法人化され、法人名を「あせんぶるおーる」としました。

湖北圏域の社会福祉法人が共同で設置していたNPO法人「ほつとステーション」は、障がい者の相談窓口、相談支援センターとしての意味合いが強いことから、将来的に就労支援の事業を拡大していく

1. 就労アセスメント
「働きたい」という気持ちはあるけれど、これからどうしたら良いかわからないという方に「就労アセスメント」を実施しています。自分に合った仕事や、どんな支援があったら良いかを家族や支援者と一緒に考えます。

2. 自立訓練（生活）
毎日出勤するのは難しい、働くには心配が多いなど「就労アセスメント」で感じたら「自立訓練（生活）」という福祉サービスを行っています。就労の前段階として、社会生活全般に向けての支援も行いながら、少しずつステップアップしていきます。

3. 就労移行支援
基本的な働く習慣を身につけることに加え、職場に必要な様々なスキルをのばしていく訓練を行います。また、「自立訓練（生活）」で定期的に通所する習慣ができ、社会的なルールやマナーが身についたら、就労を目指して

「就労移行支援」で訓練を受けることもできます。

4. 就労定着支援
就職しても、職場では困ることがあるかもしれません。職員が定期的に会社を訪問したり、生活面や職場での困りごとを聞き取り、一緒に考え、働きやすい環境になるように支援もしています。

●これまでに、多くの人が就労に結びつきました。

設立して以来、障害のある方たちの就労支援を行ってきたこと県下でも専門的な支援が行える事業所として実績を伸ばし、事業への理解と信頼を得てきたと自負しています。

また、最近増えている知的障害のない発達障害の人たちに認知行動療法等を行い、職場定着を実現するための相談・援助にも取り組んできました。設立の目的でもあった、養護学校在籍中のアセスメントについては県内でも先駆けて実施し、平成25年度からの利用者は200人を超えています。アセスメントに基づいた学校内での取り組みを検討したり、進路を選択する上で欠かせない役割を担っています。

法人全体ではこれまでに58人が会社や市役所などへの就労をされました（令和5年3

月末現在）。就労後も、会社や関係機関の皆様と協力しながら支援を続けています。

●これからも進化を続けていきたいと考えています。

現在、米原市米原中町通りにて就労支援を中心とした事業を行っていますが、引き続き同所にて事業展開を考えています。現在お借りしている長浜信用金庫旧米原支店が建てられてから60余年が経過しており、今後は長浜信用金庫様、地域の住民の皆様とも相談しながら建て替えを検討しなければなりません。

事業展開としましては、発達障害をもつ子どもさんを対象とした認知行動療法、SSIT事業の検討も必要と感じています。地域のニーズや行政における障がい者就労支援の促進施策の動向を勘案し、進化しながら貢献を続けられるよう鋭意努めて参ります。

今後とも皆様のご支援をよろしくお願いたします。

あつぷでーとでは、新規訓練生を募集しています。就労移行支援に関心のある方、利用のご希望のある方はお住まいの市役所にご相談下さい。

卒業生の話聞く

コロナ禍で企業訪問ができなくなってきた恒例行事となりましたが、学習会「OBに話を聞こう」を実施しました。あつぷでーとの訓練を経て様々な企業に就職したOBから、働くことについて生の声を聴く貴重な会となっております。来ていただくOBは毎年違います。今回は3回目となりました。今回、来ていただいた4人のOBは就労1年目〜5年目の方々です。それぞれの仕事内容や職場の環境を紹介したいと思います（表参照）。

1グループを3〜4人とし、それぞれ1名の職員が付き、事前に質問の内容をまとめました。あらかじめ職員が「一緒に働いている人の人数は？」、「働く時間は？」、「休憩時間は？」、「仕事の内容は？」、「職場の雰囲気は？」、「困ったときなどのような方法をどうしたのか？」と項目を設定しました。それ以外に、訓練生それぞれが聞きたいことを挙げ、グループごとにまとめました。どのような質問があったかをご紹介します。うと思いませんか？

Q モチベーションを保つためにしていることはありますか？

Q あつぷでーとの訓練で活かされたことは？

Q 対人関係の持ち方等）

Q 職場に配慮してもらっていることは？

Q 作業内容の固定）

Q 集中が欠けてしまう時はどうしていますか？

Q 上司に相談する等）

Q 働くうえで大切なことについていることは？

Q 仕事には行くという意識等）

Q 給料ほどのくらいですか？（A〇万円等）

Q 職場で他の人と雑談などしていますか？

Q あまり雑談をする機会はありますか？

	仕事内容	部署の人数・雰囲気	職場で受けている配慮
A社 Eさん	梱包資材の組立	20〜30名。作業は個々に行う。	その日の予定生産数をメモして渡してもらっている。
B社 Fさん	配送物の仕分け清掃	15〜20名。常に忙しい雰囲気。	2年かけてフルタイムまで段階的に勤務時間をのぼした。
C社 Gさん	事務作業 軽作業、清掃	特例子会社。約40名。グループ作業。	人間関係で困った時はスタッフに相談。定期的な面談あり。
D社 Fさん	企業内の清掃	障害者雇用の2名でペアで行う。	掃除用具庫内など、写真を用いて構造化。

Q 体調面で不安な時はどうしていますか？

Q 上司に報告する等）

Q 仕事で辛いこと、楽しいことはありますか？

Q 人間関係がこじれそうな時に困る等）

Q 仕事にやりがいを感じる時はありますか？

Q その日の作業が終わった時にやり切ったと思う等）

将来の就職に向けて役立つ情報を得るために、訓練生一人一人が真剣に考え、OBに質問することができました。今回参加してくれたOBのほとんどはコミュニケーションをとることが苦手です。質問されたことに対してどのように答えたら良いかわからなかったり、答えはわかっているもののなかなか言葉が出なかったりする方もいます。それでも、訓練生からの質問に対して一生懸命丁寧に答えてくれました。緊張しながらも落ち着いて対応する姿を見て成長を感じ、たくましく嬉しく思いました。訓練生にとっても、就労を目指すためのイメージ作りに役立つのではないのでしょうか。これからも毎年続けていけるよう就労定着支援も頑張りたいと思います。最後になりましたが、有休をとってこの学習会に参加して下さったOBの皆さん、本当にありがとうございました。

ヒヤリハットの取り組み

皆さんは「ヒヤリハット」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？色々な職場で使われている考え方です。よくご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、ヒヤリハットとはその名の通り「ヒヤリ」「ハッ」とした状況の中で、事故や災害までは至っていないけれど「危なかった」という出来事を指します。事故や災害の背後には、多くの「危なかった」が潜んでいると言われています。ヒヤリハットを「怪我しなくて良かったね。じゃあそういうことで」と流してしまわずに、一件一件意識して報告書を作成していくことで日頃から対策を考へることができ、結果的に重大な災害や事故を防ぐことにつながっていきます。

当法人では、報告書を「ヒヤリハット」「インシデント」「アクシデント」に分けて作成しています。私自身は、福祉領域で長く働いており、それぞれの用語について特に意識することなく何となく使いつつながら今日まで生きてまい

した。どの案件がどの分類にあたるかわからなくなるので、毎回インターネットで検索していました。どうやら明確な基準はないらしく、それぞれの組織ごとに定義を確認した方が良さそうです。「ヒヤリハット」と「インシデント」は同義語のようではありませんが、当法人では、その場で特別な対応が必要なかったものを「ヒヤリハット」、軽傷などで施設内で対応ができたものは「インシデント」、受診が必要になったケースを「アクシデント」としています。正直に言うと、このように基準を決めていても、分類については毎回のように悩みます。作成した報告書は、第三者委員会にて、まとめて報告しています。前回の第三者委員会では、「アクシデント」の一つに車両事故についての報告がありました。報告書とドライブレコーダーを見ていただいたところ、初期対応についてご意見をいただくことができました。事故が起こった際の対応手順について、フ

学習会 多賀大社

令和5年の学習会は、多賀大社への初詣で幕を開けました。初めての近江鉄道での移動です。集団で公共交通機関を使って移動する良い学びの機会である以上に、懐かしい気持ちになるような風景で、ノスタルジーを感じながらの旅となりました。多賀大社前駅から絵馬通りを歩きながら、既に店々が気になって仕方ありません。太閤橋は凍結のため立ち入り禁止で残念でしたが、ほとんどの訓練生・職員がまず参拝しました。願い事はそれぞれの胸の内です。小グループの散策では、皆好き好きにおみくじを引いたり、お守りを買ったり、お団子を食べたり、看板を読み込んだり……。伊邪那岐大神、伊邪那美大神、豊臣秀吉に浅井長政と、歴史上の人物の名前にテンションが上がりました。

お昼ご飯は、全員集合して絵馬通りにあるおうどんのお店で食べたのですが、これがまた関西風のお出汁が効いていて絶品でした。また食べに行きたくなる味です。集団でワイワイと食べさせていただき、お店の方には

お昼ご飯は、全員集合して絵馬通りにあるおうどんのお店で食べたのですが、これがまた関西風のお出汁が効いていて絶品でした。また食べに行きたくなる味です。集団でワイワイと食べさせていただき、お店の方には

お昼ご飯は、全員集合して絵馬通りにあるおうどんのお店で食べたのですが、これがまた関西風のお出汁が効いていて絶品でした。また食べに行きたくなる味です。集団でワイワイと食べさせていただき、お店の方には



研修報告

にぎにぎとお味噌汁

お家ごはんコンシェルジュ田中裕子さんを講師にお招きし、おにぎりとお味噌汁の調理実習を行いました。訓練生の自立した生活への第一歩を目的として、一人で手軽に作れる調理を体験する取り組みです。

調理実習に入る前に、栄養バランスや食事の大切さなどについてご講義頂きました。私たちは、主食・汁物・主菜をバランス良く摂ることで毎日の体と心の元気を作っています。主食は体を動かすエネルギーとなり、汁物には体の調子を整える働きがあります。日本では2千年以上も昔からお米を主食としています。お茶碗1杯分のごはんには、炭水化物はもちろん、たんぱく質、脂質、ミネラルなどの様々な栄養素が豊富に含まれます。食事にお米があることで栄養バランスが整いやすくなるということも心強い味方で、「まずはお米!」というのがオススメです。原材料も、お米と水という非常にシンプルなものです。一方でパンの原材料は、小麦粉に加えて、イースト菌などの添加物や油脂類、塩・砂糖などの調味料を含みます。同じ炭水化物でも、お米とパンには違いがあるというお話がありました。近年は、「米粉」「玄米粉」「グルテンフリー」等もあるので、健

研修報告

研修に参加しました。

今回は「コミック会話」の研修に参加しました。「コミック会話」とは、自閉症スペクトラム(以下ASD)の方を対象としたコミュニケーション支援の一つです。

ASDの特性に、「他者とコミュニケーションをとることが苦手」というものがあります。自分の伝えたいことを相手に分かりやすく伝えることが苦手です。考えながら話したり、時系列に整理しながら話すこと等に困難さがあります。

コミック会話では、会話を可視化することができます。目に見えるとお互いに理解しやすいですし、「会話って楽しい」と感じてもらえることも期待できます。

他の特性には「物事が一つの見方に偏りやすい」というものもあります。出来事や背景を推測することが苦手であったり、因果関係を誤って捉えやすいため、事実を勘違いして受け止めてしまうことがあります。そんなときも、コミック会話を使うと出来事を他の角度から見ると助けになります。目には見えない相手の意図・感情を推し量ることが可能になり、捉え違いからトラブルに発展するのを防ぐ効果が期待できます。

コミック会話を使って話をするときには、線画(棒人間)を使います。線画であれば誰でもすくすく書くことができるというのがその理由の一つ。

また、ASDの方は物事の細部に目がいきがちで、絵を描き始めると「あ、髪型はそうじゃないです」等、論点から離れるリスクがあります。線画で情報量を少なくすることで、会話に注目がいきます。

研修では、他の参加者とグループになり、相手の話を聞きながらコミック会話を書く練習を行いました。実際にやってみて感じたのは、相手の話を聞きながら絵を描くのはとても難しいということ。逆に話を聞いてもらった時は「頭の中がとても整理されるし、話を聞いてもらった」と感じることができました。

現場では是非活かしたいと思えます。

4月1日

